



第38回 特別講演会

研究や展示で役立つかもしれない 解剖、撮影、標本作成法

川野敬介（当館 学芸員）

当館では、様々な内容の企画展や展示、研究を行う中で、独自の解剖や撮影、標本の作成方法などを試行錯誤の末につくりあげてきました。例えば、昆虫などの小さな生き物を解剖する場合、通常の昆虫の解剖方法とは異なり、ミミズなど他の生き物の解剖の手法を取り入れた独自の解剖方法を使っていたり、写真や動画も独自の撮影機材等を作成して撮影や加工していたりしています。また、展示するためにはさまざまな標本作成しないといけません。その中にはこれまで液浸標本でなくては体を維持できなかった生き物を乾燥標本として展示できる独自のグリセリン置換標本などがあります。

さらに、展示や研究に際して、これまで様々な装置や器具も作成してきたので、それらも合わせてご紹介できたらと思います。

これまで2年間、講演会はすべてオンラインに移行しておりましたが、久しぶりの対面による講演会ですので、解剖や標本作成の実演をしたり、実物の装置や標本などもご覧頂けたらと思います。



▲カブトムシの蛹のグリセリン置換標本

- ・開催日時：令和4年10月29日（土）13:00～14:30
- ・場 所：豊田ホテルの里ミュージアム 多目的ホール
- ・受講料：無 料
- ・申し込み：以下の入力フォームからお申し込みください。



↑入力フォームのURL

<https://shinsei.pref.yamaguchi.lg.jp/HHBgw640>

↑入力フォームのURL

- ・申込締切：定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・定 員：40組

※『ハリガネムシのグリセリン置換標本（実物）』をご聴講頂いた方の中で、貰って頂ける方にはプレゼントします。入力フォームで『いるorいない』をお選びください。